



全国稲作経営者会議

自立した経営を目指して

102-008

9-8

07

TEL:03-6910-1124 FAX:03-3261-5131

E-mail:inakeikaigi@nca.or.jp

URL:http://inakeikaigi.jp/

N < ,

ø fi < ^ œ " μ â fi ß K P ü }

† \ ' 8) * 1 c >5 v>4 í>5 ¥ †%4
\$.#ª w _ Z 'ª>2>0 G † \ ' 8) * #' %'2
6ä & K S g * c(Ü>1>3>. j ¶21 \ K Z †%4
j%- f í N#ª 4(¶ í7c3° ; 6x í 3.(¶ }
@+« K & 3j 8l 8 S
>/ ¥% _ c ¶&k † \ 3° w #. í 6x
í ß3¶ ò ´ ¶ 3° Ø"#Øf » _ | 1n 8...
\ } < Z 8... _ >+ G ? } b' 8) l b
>+ _) F A @ O m 8 '#Ö \ 8 K S ¾/
O ,°>& 4' í S&k6x _ | 1n @/ S r S
„ B>1>. "#Ø? } b \ _ | #Ö#ØX5 % O¿ b0b
%\$ K _ P M b ;' f L [6 „ B>1>. "
#Ø? } b(;'Ob%\$ K _6i M f L G ¥ K S
>O ¥% c » ß î å ¥ î « 8x d d ¥ î
« O{ ¥ î « b>1 ¥ î « _ (? #' Oi 9
/ W S » ß î å ¥>+ « _ > 8 Z c ^ " ¿ ¥ j%-%4 _ Z6ä & l



開会挨拶をする大越一雄 全国稲作経営者会議会長

« ^ î " ... î [6 4 j . - b b v \ q
/ j b μ » ß î å b Oi 9 / W S
^ > ¶ " Øb#'%'^2 c „ B>1>. ">5 v>3 í>4
¥ j%-%4 _ Z6ä & l

【特集①】 第42回全国稲作経営者現地研究会in新潟	1P
【特集②】 第10代全国稲作経営者会議会長に平石博氏	2P
【特集③】 代議員総会議案：平成29年度事業計画の決定	3P
【特集④】 第34回若い稲作経営者研究会夏季研修会	6P
【トピックス①】 業務用途への安定取引に向けた「米マッチングフェア」のご案内	6P
【トピックス②】 農業者の皆様にとってA-FIVEの支援がより身近なものになりました	7P
【News】 いなけいニュース	8P

07008

0700

20311

80754

84

(2) 理事会

①第1回

日 : 平成29年4月6日 7日 ()

場 : 会 フ
(代田)

②第2回

日 : 平成29年10月上 定)

場 : 内 (定)

(3) 経営技術委員会

稲作の経営改 に向けた取り組み 政策
提案等に いて研究 議するため、 委員会
を 開催する

2. 研究会の開催

(1) 第42回全国稲作経営者現地研究会

日 : 平成29年7月6日 7日 ()

場 : 新潟県新 田市

(2) 第36回全国稲作経営研究会

日 : 平成30年1月 (定)

場 : 定

(3) 第45回全国農業経営者研究大会稲作分科会

日 : 平成30年2月6日 7日

場 : り

3. 青年部

(1) 役員会

①第1回

日 : 平成29年4月5日 ()

場 : 全国農業会議 1 会議
(代田)

②第2回

日 : 平成29年11月10日 ()

場 : 全国農業会議 1 会議
(代田)

(2) 相互研さん・研修活動

①第34回若い稲作経営者研究会 夏季研修会

日 : 平成29年8月9日 10日 ()

場 : 山形県 市

②第35回若い稲作経営者研究会 季研修会

日 : 平成30年1月 定

場 : 定

③第3回 季 の実施

日 : 平成30年2月 定

場 : 定

④ファーマーズ&キッズフェスタ出

日 : 平成29年11月11日

・12日 日

場 : 日 谷



ファーマーズ&キッズフェスタ(昨年度)

4. ブロック会議

① 地 稲作経営者現地研究会

日 : 平成29年8月29日 30日)

場 : 県

② 越・ ・近 ブロック

稲作経営者研究大会

日 : 平成29年12月7日 8日

場 : 井県

③関 地 稲作経営者現地研究会

日 : 平成29年12月7日 8日

場 : 県

④ 国・ 国ブロック稲作経営者会議研究会

日 : 平成30年1月 定

場 : 県

・佐 県稲作経営者研修会

日 : 平成30年2月 定

場 : 佐 県



5. 政策提案および情報活動の強化

(1) 政策提案

の経営では決しがたいにいて、会員を集し、地会員の経営にながるよ、政府・国会等に政策提案を

(2) 調査・研究活動

①アンケート調査の実施

にじて、会員にとってな情報となるアンケート調査を実施する

②現地調査の実施

にじて、者等をめた調査委員会を組織し、政策提案にびけるための現地調査を実施し、報を取りまとめる

③その他

農が実施する調査に協する、稲作経営の改および政策提案等のため、にじて調査・研究活動を

(3) 情報活動

情報活動を強化するため、一の新県事務をじた情報提活動を的に

6. 組織対策

(1) 組織の拡大・強化

組織県における稲作経営者会議の組織化をブロックでけるとともに、人にも進する一方、組織県においては、組織の拡大・強化に取り組特に稲作をとする定農業者に対しては、県組織の役員をに、組織を的にける

また、会員が今まで上に活に活動でるよ経営技術委員会をはじめ、代地を越た稲作にいての議を活化する

(2) 財政基盤の強化

本会の活動を実活性化するため、関係業に対し助をける

(3) ブロック研究会等に対する助成

2県上で催する研究会にいて、経費の一部を支援する

①地稲作経営者現地研究会

②越・近ブロック

稲作経営者研究大会

③関地稲作経営者現地研究会

④国・国ブロック稲作経営者会議研究会

・佐県稲作経営者研修会

7. 関係機関・団体等との連携

(1) 全国農業経営者協会との連携

経営者組織の会員が、部を越た交により経営がるよ協会との接な連携強化にめる

(2) 関係機関・試験研究機関等との連携

農関係団体、研究機関等との交換を的に進め、連携を強化する

(3) 政財界・消費者との連携、食育への取り組み

今後の米経営の上、政財界なびに消費者との連携強化はなであるとな、なアローチをる

また、米の消費拡大に向けた取り組みとして、米食を推進するとともに、日本食活の推進をに食育に取り組

(4) 農業経営者間の農地利用権交換運動の推進

地利用農業のさなる経営改に向け、定農業者組織農業委員会組織、農地間理機等と連携をり、農業経営者間で農地の利用権を交換する運動を開する体的には、い間で利用権を交換して農地の団地化とによる画拡大をい、コストの減・化を実するル地の設に取り組

8. その他

その他、的成にな事業を

【特集④】第34回若い稲作経営者研究会
夏季研修会

8 7 4 6 7
6 2 8 8 2
6 3 7 4
4 6 8 6 7
4 6 @
7 4
4 4 k@
7
8
1 8 8
0 1
3
7
8 X
8
3 @
0
7
7 4 6 V 2 @
V 3 0 9 3 2
3 0 9 9



コスト削減の可能性を探った



視察した井上農場で

【トピックス①】業務用途への安定取引に向けた
「米マッチングフェア」のご案内

会 グ ン・ ス・ ピー

産地と実需者を結びつける業務用途米の
マッチングフェアを下記の通り、開催いた
します。

生産者向け事前説明会は終了しましたが、
会場によってはまだ若干出展枠がございま
すので、是非ご検討、ご参加ください。

「米マッチングフェア2017展示商談会」

220	1	220	
210		07	2
0	1	2 02	2
2 2202	210		

枠

1

枠

12

i 00 n n i n

88

7/8 8

8 R F I V F R

8

【トピックス②】 農業者の皆様にとってA-FIVEの支援がより身近なものになりました

3 8 4

1. はじめに

今回は、本年5月に、会 農 業 成 長 業 化 支 援 機 (A-FIVE) び ブ ファン による

3 2 1 2 @

3

A-FIVE @ 3 8

8 1 8 A 8

8 r

6 4 8 6

A-FIVE 2 2 3

@ 3 @

4

2 @ 8 8 a

g

6 2 8

115

258 c h 8 8 a

r @ 3

4 0 4 0 4

0 4 0 3 1

4 3 @

2 - @

A 8 r

2. 今回の制度改正内容 (農業法人等への直接的な支援)

のよ に A-FIVE は 6 業 化 の 取 組 に 対 し

- / 8 r @

A-FIVE

8 8 @

X @ A-FIVE 3

2 @ E @ 4

r 2 0 g E

1 @ r c 4

7 2 5 V

6 3 5 1 8 j 4 8

@ 9 0 g

6 @

A-FIVE

0 3 2 c

3 2 2 / 3 6 a 0 @

8 r

3 c 3

A-FIVE

2 - g 5 4

7 3 2 4

k @ l g

A-FIVE

@ 2 7 r

4 8 2

I @ A-FIVE 3

2 @ - E @

A-FIVE @ 2

3 3 8 r

3. 出資にあたってのルール等

A-FIVE の 支 援 を ける に た っ て は 、 ま 、 農

2 2

r 0 1 E 8 10 @

r @ A-FIVE

3 2 4 4 X 0 r

r 4 4

1000

8 3 2 @

A-FIVE

1000

4 4 @

2 5 8 3 t r r

1 4 2 2

2 - 8 r

4. 最後に

出 資 と い 的 新 し い 支 援 法 は 、 農 業 者 の 皆 様 に と っ て 、 染 み に い も あ る と い ま す が 、

助 に し て 資 の 途 が である と 、 A-FIVE び ブ ファン による 支 援 等 の 経 営

@ A 6

8 0 8 E r

8

3 4 1

708 03-6744-2076

☆ 青年部部会長に
山形県稲作経営者
会議・井上貴利氏
が就任



井上新青年部部会長

8月9日に
た第34回若い
稲作経営者研究会
で、に就任挨拶
をうった就任挨拶では、「山形県市ま
の37で、業後、農業をめ、19年になり
ます稲経には、18のとに、稲経大会
にめてし、15haった経営は、50hに
^~10jb("< |: _ ^ ~ r K S t
\' 8) * 1 > 3 æ% b4 6x \ K Z 7 ÷ " 4 c
7 ÷ " } K C # ' _ Z r S fi l K ^ @ } \$ Û
] \ M L M L S 4 K Z 8 A S 8 \ î 8 8y G W Z
~ r M b [' | K Z 8 S T A S 8 \ 3 Û m S

☆横田修一氏、青年部部会長を勇退

横田氏は退任にあたり、8月9日に
た第34回若い稲作経営者研究会で、
のよにた
なお、今後は、青年部
となる

最に部会長になったとは、部会長の井
さんのよにななけとのいが強、最の
1年はしった2年、分し
と決し、役員会員の皆様に助けてもいなが、
支てもいなが、6年間、会を作ってる
とがでましたありがとごいました今後、井
上新会長に引つてもいなが、みなで支
なが、会がよりよなっていとをみます
にいるメン一で日本農業はる

☆山形県稲作経営者会議が設立

3月31日、山形県稲作経営者会議が設立し、4
月5日に開催した平成29年度第1回理事会にて、
全国稲作経営者会議会員になるとが、さた
会長は、正氏が務める



☆全国資材関係協議会、5月1日に設立
会は、おに県をの上、
アスにメールをさい
zenshikyo431@gmail.com

ü>5 v>4 ¥ -%4
' 84 í 4
6x 1',q ¶ @8x q í
3° í3° § ;' B1
\$(_ u i M \ \ v
_ ß#i4 8x(^4
3° „ í4 3°
3° § œ+~ Z 4 b 4 \$(_ u i K S
ü>7 v 7 ÷ " 4 S4
6x í #^ M ¶
8x q í3° í3° §
' B1 3° 3° §
q~ Z 4 +« i \$
_ u i K S



染谷茂氏



横田修一氏

ü>5 v>0>/ ¥ „%... 6x - 1 j 6x } @ 3° Ø
"#0%, l 6x u i b i ÜG ~ / W S > & x%?>'



☆全国稲作経営者会議青年部、米国視察実施

2月10 17日、米国・フルニアにて
視察研修をうった視察最大のとして、現
は3代
にあた
るロス国
府田氏が
代を務
める国府
田農場を
した

視察した国府田農場で